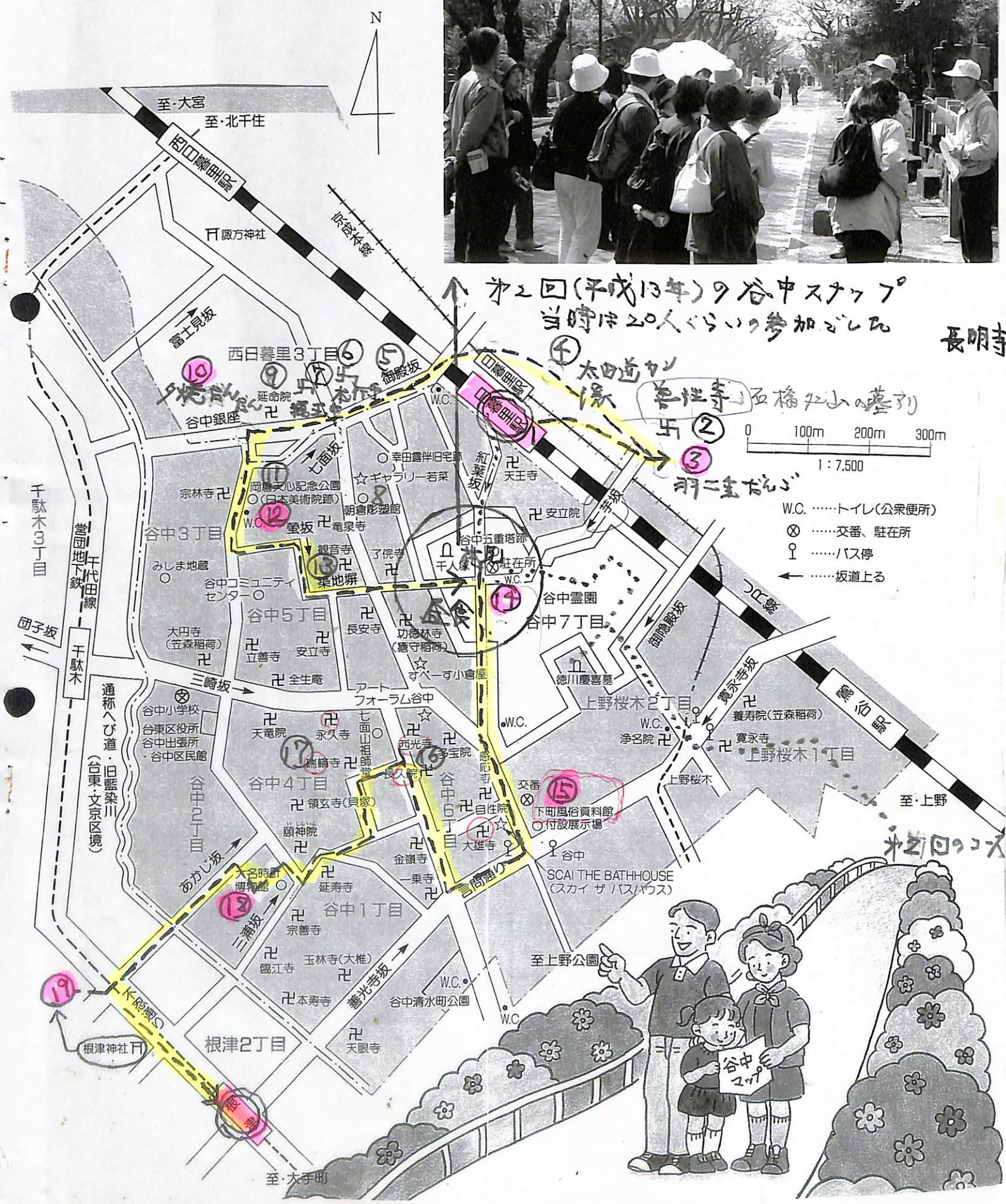


食付時の
会費+大名時計博入場料
1,000円徴収です



才之回(平成13年)の谷中スクエア
当時は20人ほどの参加でした



江戸切絵図 安政3年(1856)

城と史跡を歩く会第29回「桜と歴史の里・谷中周辺を歩く」ご案内資料

<日時>	平成16年3月25日(木曜日=雨天予備日26日)
<乗車券>	東京自由乗車券1810円(八幡宿は新発売=窓口で)
<主要行程>	八幡宿8時09分、蘇我16分着、29分(36分)発(③番線前の方乗車)、東京9時19分着、③、④番線山手または京浜東北線乗り換え、日暮里10時ころ着 南口改札前集合、開会式 善性院 — 太田道灌騎馬像 — 御殿坂 — 本行寺 — 延命院 — 夕焼けだんだん — 岡倉天心記念公園 — 観音寺築地塀 — 谷中霊園桜並木(昼食) — 下町資料館 — 西光寺 — 瑞輪寺 — 大名時計博物館 — 根津神社 千代田線根津駅、西日暮里、東京、蘇我経由、八幡宿18時30分ころ着

ご案内=山岸弘明

- 1) はじめに=地名のいわれから
- ① 谷中=上野と駒込の中間の谷、谷の中という地形から
 - ② 日暮里=太田道灌出城の新堀。江戸中期から日暮里をあて日暮らしの里とも
 - ③ 桜木=桜の多い村
 - ④ 根津=甲府徳川家の根津権現に由来。上野台地と本郷台地に挟まれた根津谷
- 2) 善性寺(日蓮宗=荒川区東日暮里)
- ① 徳川宗家ゆかり寺。寛文4年、6代将軍家宣の生母長昌院を埋葬(谷中徳川墓地移葬儀)、弟の松平清武がこの寺に隠棲したので、家宣がたびたび訪ねて親交を深めた。
 - ② 將軍橋=将軍家宣が訪問の都度渡った門前の石橋。いまは小川もなく不自由そうに橋だけが残る。
 - ③ 浜田松平越智6万石菩提寺=蘇我
 - ①清武=本賢院殿從四位下行侍從弘毅齊墓(角石およそ2.5m=享保9年)
 - 歴代合祀=松平家諸靈之墓(自然石およそ3m=昭和35年)



↑善性院 羽二重団子



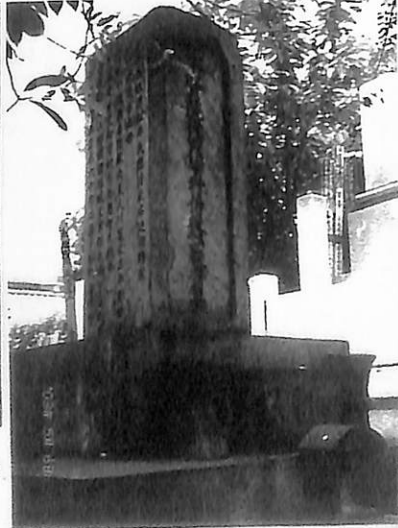
いも坂みち

自然薯(山芋)がこの付近で取れたことに因むこの坂みちは、彰義四年(一八六八)五月十五日、上野の戦いで敗れた彰義隊士が、官軍の追跡を逃れる為、台上から北方遙かな日光を目指し、その折敷に絶命させ、半坂を駆け下りたと云う。その折敷に、刀、槍を膝下に投げ込み、野良音に変装、当店舗内に展示してある。



將軍橋

松平清武の墓→



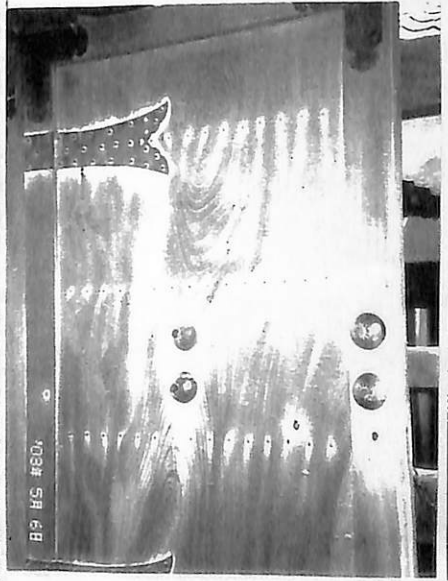
太田道灌騎馬像



道灌丘碑



本行寺



← 経王寺



永井尚志の墓

- 3) 羽二重団子と芋坂(東日暮里)
 - ① 文政2年創業の老舗だんご店。キメ細かく羽二重のようだと評判になる。芋坂もだんごも月のゆかりかな(正岡子規句碑)
 - ② 彰義隊上野戦争敗走路=刀や銃を店の縁の下に隠して野良着姿に変装して落ち延びた隊士も。引き取り手のなかった遺品を店内に展示。残念ながら時間なく見学はできない。
- 4) 太田道灌騎馬像(日暮里駅前=東日暮里)
 - ① 日暮里は道灌山を出城に、物見塚など道灌ゆかりの地でも。駅前ロータリーに道灌騎馬像。
 - ② 太田道灌は中世初期の武将で江戸城創設者。扇谷上杉定正を補佐して関東各地に転戦するが、暗殺される。ゆかりの東京フォーラム、川越城などにも道灌像がある。
- 5) 御殿坂(荒川区西日暮里3と台東区谷中7の間)
 - ① 由来に数説。徳川将軍家、道灌御殿説、近くの寛永寺座主、輪王寺宮隠居所、御隠(ごいん)殿など。
 - ② 別名がこじき坂、坂下に参詣客目当てのこじきがたむろしたという。
- 6) 本行寺(日蓮宗=荒川区西日暮里3)
 - ① 月見寺=今では考えられないが、江戸時代は高台下に生姜畑と水田が広がり、水田に写る月が美しかったという。寺で月見を楽しんだことが通称に。墓地から展望、旧跡を忍ぶ。
 - ② 道灌丘跡=道灌時代、江戸城の物見台。若、のろし台。異常を本城に知らせる中継所。かげろうや、道灌どのの物見塚(小林一茶句碑)ほっと月がある 東京にきている(種田山頭火句碑)道灌子孫、掛川5万石太田資高が大永6年開基という道灌ゆかり寺。江戸時代は同家の菩提寺であったが移葬され現存しない。一族の旧旗本墓が道灌との繋がりを忍ばせる。
 - ③ 加納永井家3万石菩提寺=
 - ⑧尚典(最後の藩主)=正明院殿正五位尚典日叡大居士(角石およそ3m=明治18年)同室、⑨子爵尚服、同室、永井家合葬之墓
 - ④ 永井尚志の墓=崇文院殿介堂日彰大居士ほか(角柱およそ2m=明治24年)永井尚志(むね)=幕末期の旗本。幕府海軍創設の功労者で軍艦奉行、若年寄などを歴任、慶喜の大政奉還起案者の一人でも。鳥羽、伏見で敗れ、北海道新国家を夢見る捕らえられて入獄した。
- 7) 経王寺(日蓮宗=西日暮里3)
 - ① 谷中七福神大黒天の寺
 - ② 彰義隊分屯所跡=慶応4年、彰義隊守備隊の分屯所となる。敗走する隊士たちが立てこもったので、

一茶 陽気 道灌 歴の 4物見塚

官軍が銃弾を打ち込んだ。山門に砲弾跡が残る。

- 8) 朝倉彫塑館 (谷中5) 見だけ
 - ① 明治、大正、昭和の日本を代表する彫刻家、朝倉文夫の住宅とアトリエを資料館として公開。作品500点を収蔵。
 - ② きょうは時間の都合で屋上の人物像で諦める。
- 9) 延命院と七面大明神 (日蓮宗=荒川区日暮里9)
 - ① 大椎=樹齢うん百年。あぶなげに健在。区の天然記念物指定。
 - ② 江戸前期・慶安4年、4代将軍家綱三沢局創建。七面大明神を奉る。家光側室の安産祈願で家綱が誕生。大奥の信仰が厚かった。
 - ③ 江戸後期11代将軍家斉時代、将軍の墮落生活は大奥に蔓延。15代住職・日潤(日道)は元役者で美男。言葉巧みに参詣の大奥女性たちを誘惑。関係した女性たち59名とされる。
 - ④ スキャンダルな噂絶えず、享和3年寺社奉行脇坂淡路守摘発。日潤ら死罪、大奥女性では妊娠中の下働きら6人を処分、上級女中への波及止める。日潤の墓=行磧日潤聖人、享和3年7月29日刻む
- 10) 夕焼けだんだんと谷中銀座商店街 (西日暮里3=自由行動15分)
 - ① 地名は夕焼けがきれいな坂。江戸時代はなかった。
 - ② 谷中銀座商店街=変哲のない小さな商店街。全国どこにでもある銀座商店街だがいままぜか賑わう。
 - ③ 後藤菓子屋=名物お菓子屋さん。ちょっと休憩、お店に立寄る。
 - ④ よみせ通り=4の日は道の両側に市。人気スポットだがきょうは閑散。
- 11) 長明寺 (日蓮宗=台東区谷中5)
 - ① 人力車発祥の碑
 - ② 旗本700石荻原家菩提寺

分家①重秀ほか合祀=荻原家[剝離判読不能]荻原近江守源直方之墓(角柱およそ1m=弘化2年)荻原重秀=将軍綱吉と首席老中柳沢吉保の勘定方腹臣。金銀改鋳を建議、綱吉の浪費で傾いた幕府財政を再建。



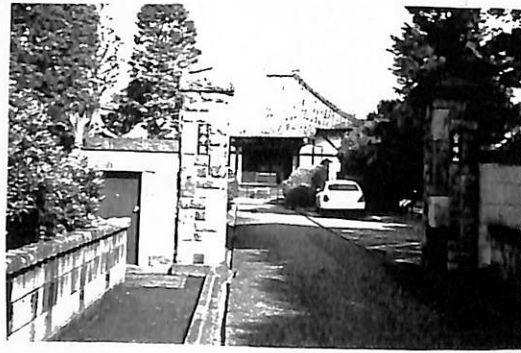
夕焼けだんだん



→ 七面坂



朝倉朔ッ館



延命院 ↑



長明寺



谷中銀座



観音寺築地塀



西光寺

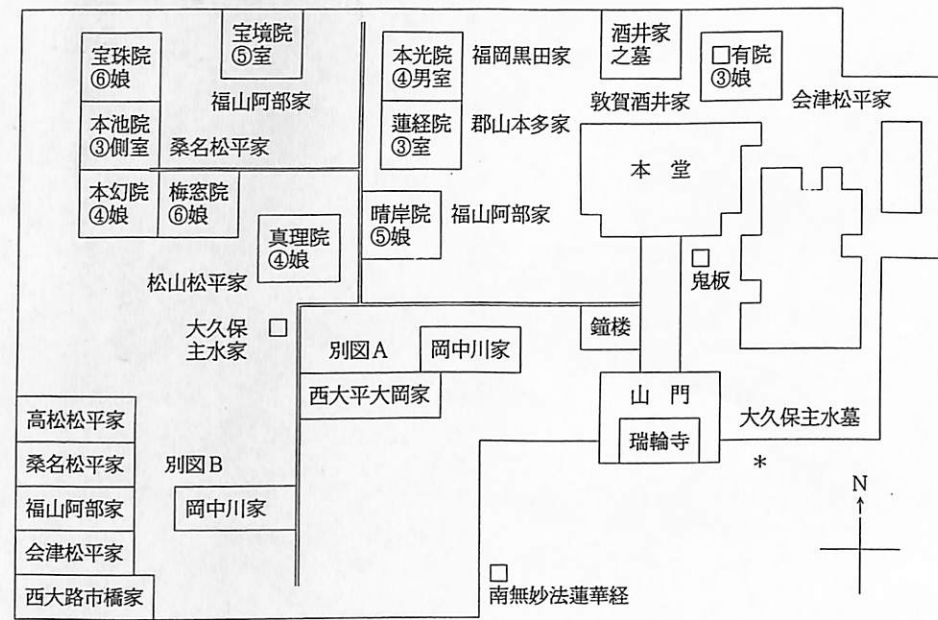


谷中霊園

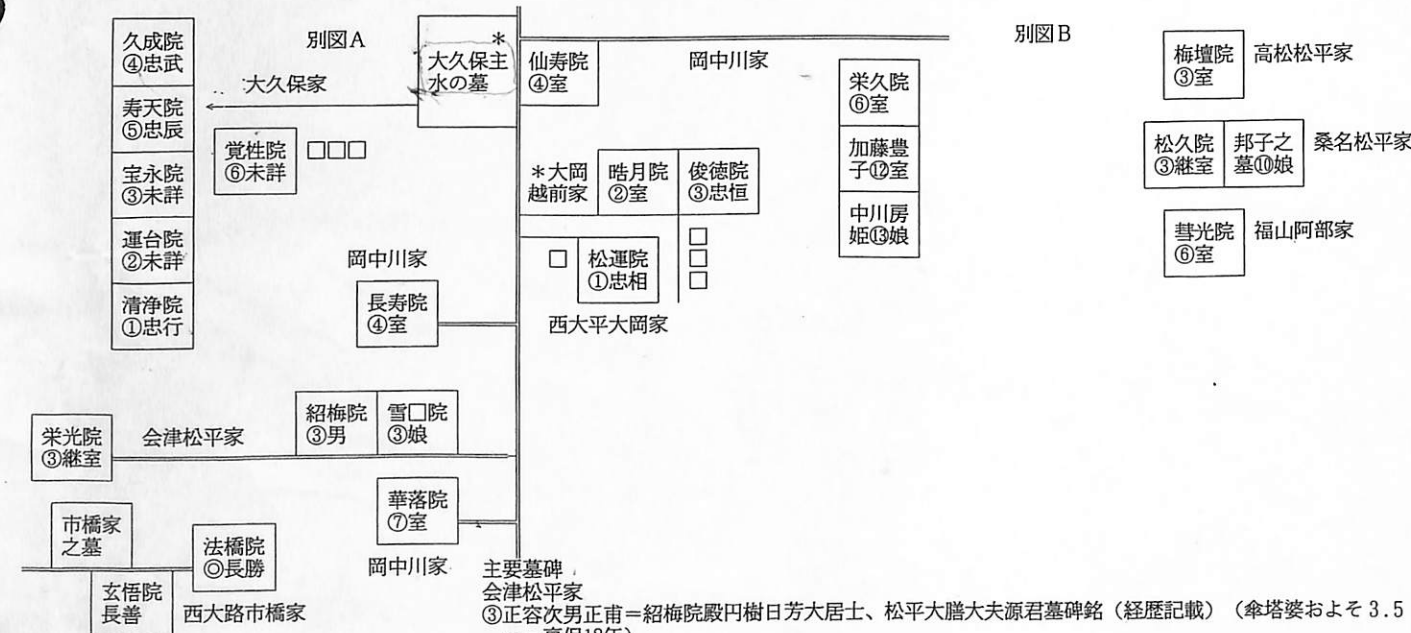


岡倉天心公園

- 12) 岡倉天心記念公園 (谷中5=トイレ休憩)
 - ① 明治美術界の先覚者。東京美術学校(現東京芸術大学)の創設に尽力したが、校内の内紛で校長を辞任、この地で東京美術学校、日本美術院を興した。明治31年から39年まで8年間居住、橋本雅邦、横山大観、菱田春草を育成した。
 - ② 公園内の六角堂に岡倉天心のブロンズ像がある。
- 13) 観音寺築地塀 (谷中5)
 - 石塀が続く寺町の雰囲気伝える。もっとも谷中らしい人気スポット
- 14) 谷中霊園と谷中の桜(再実施) (谷中7=昼食)
 - ① 谷中霊園=東京3大霊園の1つ。10万㎡の墓地に7千基が眠る。明治5年、彰義隊を支援して没収された旧天王寺と寛永寺塔頭、徳川家墓地を市(都)営墓地として開放。墓地は境界が入り組んで分かりにくい、大きい墓は寛永寺、区画された墓地は都営霊園。
 - ② 谷中の桜=江戸時代から桜の名所。本会第2回では交番前を通ったが、今回は逆方向へ抜ける。
 - ③ 周辺で思い思いに昼食
 - ④ 五重塔あと。長谷川一夫の墓
- 15) 下町風俗資料館付展示場 (上野桜木2)
 - ① 下町の歴史や情緒、風俗、習慣を残そうと昭和42年に創設。
 - ② 谷中霊園近くに7代続いた酒屋吉田屋、明治中期の建物を移築、公開。
 - ③ 前土間、出桁造り、揚戸など江戸商家の造り。
- 16) 西光寺(通称韋駄天寺) (谷中6)
 - ① 江戸時代、佐竹、藤堂家菩提寺として栄えた。
 - ② 珍しい韋駄天の石像。足が早い神様。幼児の魔除けに信仰集める。



平成11年、15-5調べ



主要墓碑
会津松平家
③正容次男正甫=紹梅院殿円樹日芳大居士、松平大膳大夫源君墓碑銘 (経歴記載) (傘塔婆およそ3.5m=享保12年)
③〃 継室横山常定娘=米光院殿妙莊峯日華大姉 (傘塔婆およそ4m=元文2年)
高松松平家
③頼豊室正親町実重娘=梅壇院殿妙香清信大姉菩提日誠台靈 (傘塔婆およそ3m=宝永4年)
福山阿部家
⑤正邦室山内豊昌娘=宝境院殿秋岸日嬉大姉 (宝篋印塔およそ3.5m=延宝9年)
⑥正福室久松定直娘美和=慧光院殿妙達日源大姉 (〃 =享保5年)
福岡黒田家
④綱政男吉之室本多忠常娘富子=本光院殿妙瑞恵照日周大禪尼 (五輪塔およそ4.5m=宝暦7年)
高知山内家
④豊昌室久松定頼娘=仙寿院久米日成大姉 (宝篋印塔およそ4m=寛文4年)
岡中川家
④久恒室池田光佐娘佐阿=長寿院殿妙応日慶大姉、豊後州阿城主従五位下中川佐渡守 (以下経歴記載) (傘塔婆およそ3m=宝永3年)
⑥久忠室正親町実豊娘久子=米久院殿禅慧妙定日崇大姉 (経歴記載) (〃 =宝暦8年)
⑦久慶室中川久周娘清子=華落院殿蓮成妙美日相大姉 (経歴記載) (〃 =宝暦8年)
西大平大岡家
⑩忠勝、①忠相、同側室、②忠宣、同室=大綱院殿忠誉窓月浄見居士、松運院殿前越前刺史興仁山崇義大居士、慈慶院殿明善光月寿照大禪定尼、□光院殿前越州刺史触善忠宣照天大居士、延寿院殿松藏貞栄大姉 (長形およそ1m=文禄3年、宝暦元年、明和6年、明和3年、明和6年)
③忠恒=俊徳院殿前越州至信日誠大居士、藤原姓大岡忠暁墓 (位牌形およそ1.5m=天明6年)
西大路市橋家
⑩長勝、⑩長利、①長政室、④直方、⑨長富ほか合祀=法橋院殿日悟大居士、市橋下総守藤原長勝 (ほか墓誌記載) (宝篋印塔およそ3m=元和6年)
郡山本多家
③忠常室浅野綱展娘豊=蓮経院殿妙口日解大姉淑霊 (五輪塔およそ3.5m=元文2年)
敦賀酒井家
合祀=酒井家之墓 (角石およそ2.5m=昭和4年)
旗本大久保家 (300石、菓子司)
①忠行=清浄院殿連来日富 (宝篋印塔およそ2m=元和2年)
②未詳=運台院殿妙乘日宝 (〃 2.5m=寛永21年)
③未詳=宝永院殿宗蓮日口 (〃 =慶安元年)
④忠武=久成院殿前寿日長霊 (〃 2m=宝永3年)
⑤忠辰=寿天院殿長古日照 (〃 =延宝8年)
⑥? 未詳=還空覚性院妙了日霊 (板碑型およそ1m=元禄3年)



大久保主水の墓

17) 瑞輪寺 (日蓮宗=谷中4)

- ① 家康創建の名刹。車の通らない大道は門前町の名残り。両側に旧塔頭。
- ② 山門、本堂とも重厚。墓地も広い。
- ③ 大久保主水忠行の墓=徳川家康の旧臣で江戸水道の創始者。戦傷のため、菓子屋になっていたが、家康から江戸への上水道の敷設を懇請され、わずか3か月で井の頭から関口大堰をへて神田周辺へ水道を引いた。
- ⑤ 岡中川、西大平大岡、会津松平、福山阿部、福岡黒田家など巨大大名墓がずらり。

18) 大名時計博物館 (団体入場=谷中2)

- ① 上田愚郎氏が収集した和時計の博物館。展示380点すべてが個人コレクション。
- ② 江戸時代の時刻は昼と夜で進み方が異なるので補正システムが必要だった。仕組みに注目。時間の性格さより装飾に重点が置かれたので美術品としての評価も高い。
- ③ 檜時計、尺時計、枕時計、香盤時計……

19) 根津神社 (文京区根津1)

- ① 日本武尊伝説。東征のとき須佐之命を奉る。
- ② 6代將軍家宣の産土神。元甲府徳川家江戸屋敷。宝永3年、養子に迎えた綱吉が跡地に根津神社を移す。
- ③ 権現造り社殿=本殿、弊殿、拝殿。楼門、唐門、透(すき)塀。昭和戦災を免れ重厚、華麗。綱吉造営の重要文化財。
- ④ 春はつつじまつり。甲府徳川家時代に移植。3,500本咲き誇る。江戸3大花祭りの1つ。今回はまだ早い。

以上

昼休みに、第30回「徳川家康ゆかりの駿府城と久能山東照宮バスツアー」受け付け

4月24日(土)、会費=7千円(会費、バス、ロープウェイ、入館、拝観料、昼食、保険料を含む)
定員49名(補助席使用しない)。申し込み多数の時、抽選となりますので予めご了承ください。



下町民俗資料館展示物
大名時計博物館



根津神社

大名時計博物館案内

〒110-0001 東京都台東区谷中 2-1-27 ☎03-3821-6913

沿革と概要 大名時計は、陶芸家、故上口愚朗が生涯にわたり収集した。この江戸時代の貴重な文化遺産を長く保存するために昭和26年3月「財団法人上口和時計保存協会」を勝山藩の下屋敷跡に設立、初代理事長となる。

昭和45年10月上口愚朗没後、二代目上口等が昭和49年4月「大名時計博物館」を開館、親子二代にわたり設立した博物館です。

特 色 大名時計は、江戸時代に大名お抱えの御時計師達が、長い年月をかけて手造りで製作した時計です。製作技術、機構、材質などの優れた「大名時計」は美術工芸品で世界に類のない日本独特の時計です。時刻はヨーロッパで使用された、24時間の定時法の時刻と異なり、大名時計は不定時法を用いた時計です。不定時法とは、夜明けから日暮れまでの昼を六等分、日暮れから夜明けまでの夜を六等分した時刻です。夜明けと日暮れは季節によって時間が変わるため、昼と夜の長さが変わり、一時（いっとき）の長さが変わる時刻です。これらの江戸時代の名時計を展示した、専門の博物館です。

展 示 品 掛時計、檜時計、台時計、尺時計、枕時計、印籠時計、御籠時計、置時計、和前時計、香盤時計。

収 蔵 品 大名時計のほか外国製時計、明治・大正時代の日本製時計、参考文献、東京都有形指定文化財88点。

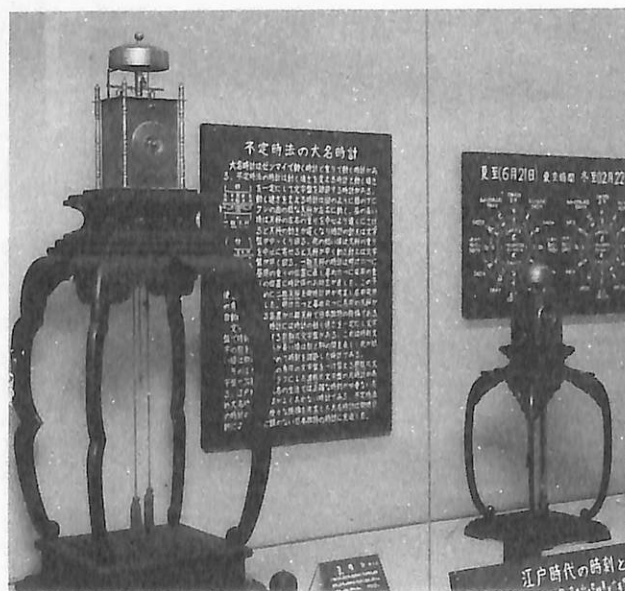
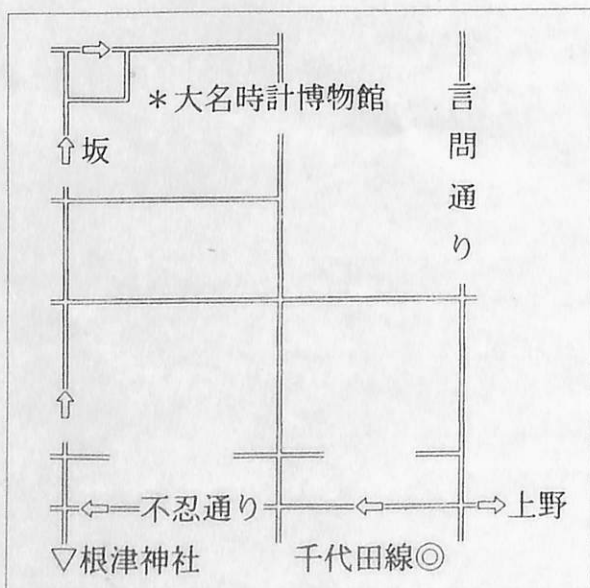
出 版 物 「大名時計」

入 館 料 大人 300円、大学・高校 200円、中学・小学 100円、団体割引（20名以上）1名につき50円割引。

開 館 時 間 午前10時から午後4時まで。

休 館 月曜日、夏期7月1日～9月30日、年末年始12月25日～1月14日

交 通 地下鉄千代田線「根津」駅より徒歩10分 JR「日暮里」駅北口より徒歩15分



江戸のある街

谷中界隈



書道博物館
台東区根岸2-10-4
☎(3872)2645

入館料 大人 500円
小中 250円

開館時間 9時30分~16時30分

休館日 (月)
・中村不折が収集したた貴
重な文化財を多数展示

大名時計

博物館
台東区金中2-1-27
☎(3821)6913

入館料 大人 300円
大高 200円
小中 100円

開館時間 10時~16時

休館日 (月)7月~9月
・江戸時代の播磨時計、台
時計、救時計、印籠時
計などを陳列

朝倉彫塑館

台東区金中7-18-10
☎(3821)4549

入館料 大人 400円
小中 150円

開館時間 9時30分~16時30分

休館日 (月)・(金)
・朝倉文夫のアトリエ工
・て、和風の庭や茶室が
ある

下町風俗資料館

付設展示場
(旧吉田屋酒店)
台東区上野桜木2-10-6
☎(3823)4408

入館料 無料

開館時間 9時30分~16時30分

休館日 (月)
・様しい、酒屋を再現し
は、かり、たる、ますな
とを展示

旧東京音楽学校

奏楽堂
台東区上野公園8-43
☎(3824)1988

入館料 大人 300円
小中 100円

開館時間 9時30分~16時30分

休館日 (月)
・日本最古のバイオリン
・カンを持つコンサート
ホール

下町風俗資料館

台東区上野公園2-1
☎(3823)7451

入館料 大人 300円
小中高 100円

開館時間 9時30分~16時30分

休館日 (月)
・大正時代の下町の路地
裏風景や生活を再現

東京芸術大学

奏楽堂
台東区上野公園12-8
☎(5685)7700

・旧奏楽堂(旧東京音楽
学校奏楽堂)を継承し
音楽教育、研究の場と
しての機能音響効果、
設備を重視した大学構
内のコンサートホール

東京芸術大学
美術館
台東区上野公園12-8
☎(5685)7755
ハロタワー
☎(3272)8600

入館料 (平常展)

大人 300円
大高 100円

(特別展の入館料は別途
定めます)

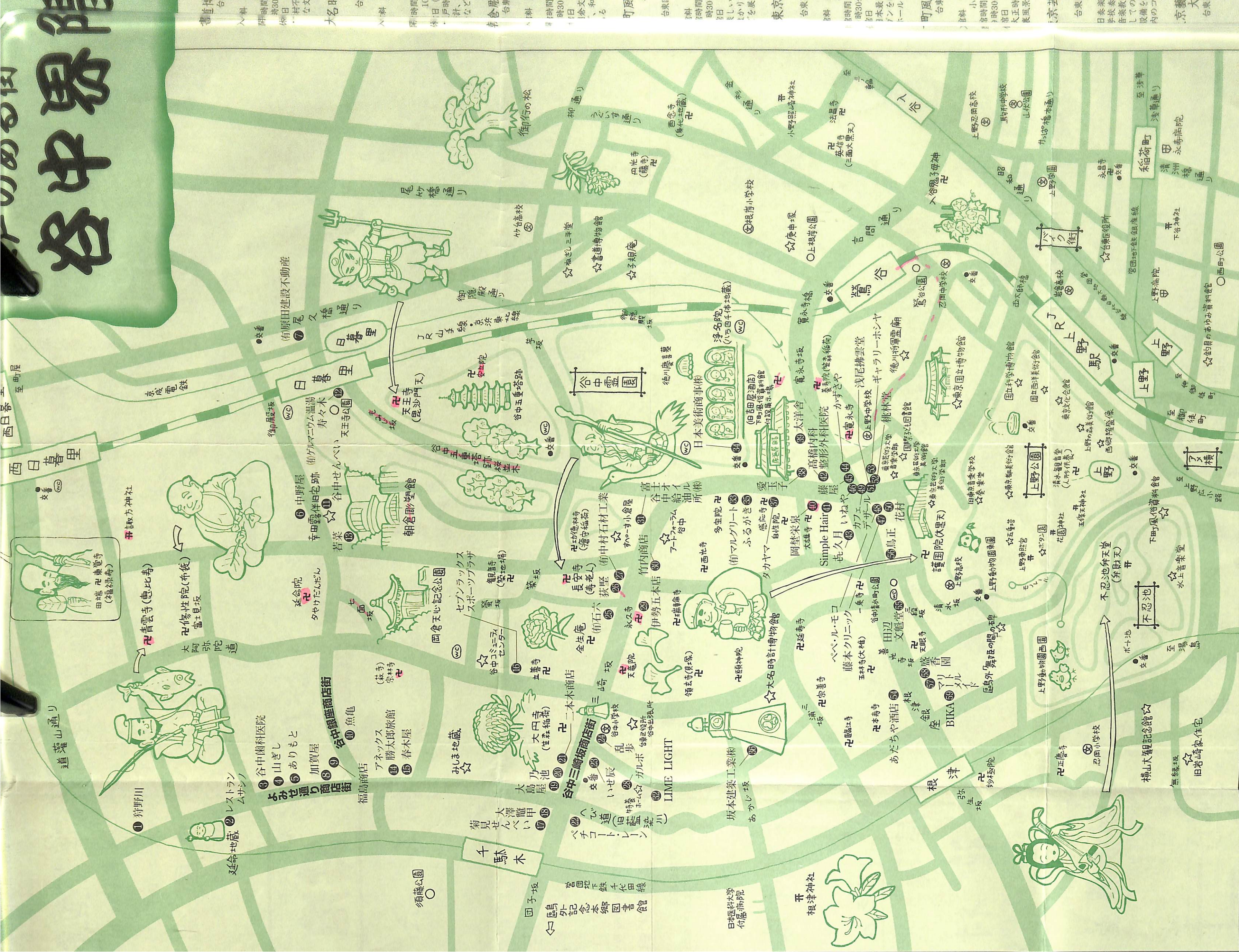
開館時間 10時~17時

歳

谷中、上野、下町界隈の観光ガイド

谷中、上野、下町界隈の観光ガイド

谷中界隈



1 狩野川
2 レストラン
3 谷中眼科病院
4 山ざし
5 ありもと
6 加賀屋
7 福島商店
8 アネックス
9 勝太郎旅館
10 春木屋
11 大丸池
12 大澤監申
13 菊見せんべい
14 乱歩
15 ガルボ
16 大丸池
17 大丸池
18 大丸池
19 大丸池
20 大丸池
21 大丸池
22 大丸池
23 大丸池
24 大丸池
25 大丸池
26 大丸池
27 大丸池
28 大丸池
29 大丸池
30 大丸池
31 大丸池
32 大丸池
33 大丸池
34 大丸池
35 大丸池
36 大丸池
37 大丸池
38 大丸池
39 大丸池
40 大丸池
41 大丸池
42 大丸池
43 大丸池
44 大丸池
45 大丸池
46 大丸池
47 大丸池
48 大丸池
49 大丸池
50 大丸池
51 大丸池
52 大丸池
53 大丸池
54 大丸池
55 大丸池
56 大丸池
57 大丸池
58 大丸池
59 大丸池
60 大丸池
61 大丸池
62 大丸池
63 大丸池
64 大丸池
65 大丸池
66 大丸池
67 大丸池
68 大丸池
69 大丸池
70 大丸池
71 大丸池
72 大丸池
73 大丸池
74 大丸池
75 大丸池
76 大丸池
77 大丸池
78 大丸池
79 大丸池
80 大丸池
81 大丸池
82 大丸池
83 大丸池
84 大丸池
85 大丸池
86 大丸池
87 大丸池
88 大丸池
89 大丸池
90 大丸池
91 大丸池
92 大丸池
93 大丸池
94 大丸池
95 大丸池
96 大丸池
97 大丸池
98 大丸池
99 大丸池
100 大丸池

101 大丸池
102 大丸池
103 大丸池
104 大丸池
105 大丸池
106 大丸池
107 大丸池
108 大丸池
109 大丸池
110 大丸池
111 大丸池
112 大丸池
113 大丸池
114 大丸池
115 大丸池
116 大丸池
117 大丸池
118 大丸池
119 大丸池
120 大丸池
121 大丸池
122 大丸池
123 大丸池
124 大丸池
125 大丸池
126 大丸池
127 大丸池
128 大丸池
129 大丸池
130 大丸池
131 大丸池
132 大丸池
133 大丸池
134 大丸池
135 大丸池
136 大丸池
137 大丸池
138 大丸池
139 大丸池
140 大丸池
141 大丸池
142 大丸池
143 大丸池
144 大丸池
145 大丸池
146 大丸池
147 大丸池
148 大丸池
149 大丸池
150 大丸池
151 大丸池
152 大丸池
153 大丸池
154 大丸池
155 大丸池
156 大丸池
157 大丸池
158 大丸池
159 大丸池
160 大丸池
161 大丸池
162 大丸池
163 大丸池
164 大丸池
165 大丸池
166 大丸池
167 大丸池
168 大丸池
169 大丸池
170 大丸池
171 大丸池
172 大丸池
173 大丸池
174 大丸池
175 大丸池
176 大丸池
177 大丸池
178 大丸池
179 大丸池
180 大丸池
181 大丸池
182 大丸池
183 大丸池
184 大丸池
185 大丸池
186 大丸池
187 大丸池
188 大丸池
189 大丸池
190 大丸池
191 大丸池
192 大丸池
193 大丸池
194 大丸池
195 大丸池
196 大丸池
197 大丸池
198 大丸池
199 大丸池
200 大丸池



夕焼けだんだんと谷中銀座



根河神社

延命院↑



善性寺



下町博物館分館



随輪寺↑ ↓長明寺の桜↑ 谷中五重塔跡

城と史跡を歩く会♡第29回
桜と歴史の里・谷中周辺を歩く ALBUM
平成16年3月25日=曇り

主要行程
日暮里駅、芋坂と羽二重だんご、善性寺、御殿坂、本行寺、延命院、夕焼けだんだんと谷中銀座、岡倉天心記念公園、観音寺築地塀、谷中霊園桜並木、五重塔跡、徳川慶喜の墓、下町資料館、西光寺、隋輪寺、大名時計博物館、根津神社
参加者(49名=あいうえお順)
青木千津子、石原志津子、市原享子、稲葉ミツ子、井上勝枝、板倉 満、今井勝昭、今井典夫、卯月富子、小北絢士、荻田恵子、小倉すみ、小野芳樹、加藤幸子、金子昭夫、金子幸枝、神林敏夫、桑原絹枝、小出敏子、斉藤 実、斉藤ヤス子、佐倉光子、笹島 稔、渋谷奎吾、渋谷恵美子、鈴木洋子、高城正雄、高城富子、竹上 茂、千葉範子、中村節子、藤田康雄、皆川 清、山田恵美、吉池一彦、吉池町子、柳沼房子、若菜幾世、渡辺清枝、山岸弘明、小出惣治、高澤恒子、鷲津寛子、藪本テイ子、高沢 毅、国分三男。
写真撮影=皆川 清、高沢 毅

西光寺



↑日暮里駅
↑スタート

←徳川慶喜の墓

大名時計博物館

